



総合資料館だより

2016. 7. 16 No. 188

「京都府立京都学・歴彩館」が誕生します。



現資料館の南側200m、京都府立大学北側に平成25年7月から建設工事を進めてきました新館が、この7月に完成しました。

新館の正式名称は「京都学・歴彩館」と決まりました。

新館では、これまでの資料館機能に、「京都学」研究支援機能を加え、京都の歴史、文化等に関する新たな学習、交流の場が誕生することとなります。

今後、書架等の備品の設置等を進め、本年12月に「京都学」関連の施設の一部オープンと平成29年度の早期の京都資料総合閲覧室のオープンを目指しています。

これに伴い、収蔵資料等の移転作業等のため、現資料館は平成28年9月14日（水）から閉館します。

閉館中は、利用者の皆様に御不便をおかけしますが、御理解いただきますようお願い申し上げます。

目次	京都府立京都学・歴彩館が誕生します。……………	1
	文献課の窓から「京都関係雑誌の中から」……………	2
	歴史資料課の窓から「佐藤辰三・佐藤旭撮影写真資料」……………	4
	新収資料の紹介「藤原範親置文（東寺百合文書り函266号）」……………	6
	最近の収集資料から……………	7
	京都府立京都学・歴彩館にむけて、平成28年度の事業予定について等……………	9
	講座案内、利用案内等……………	10

京都関係雑誌の中から

はじめに

総合資料館では、京都に関する資料の収集に努めています。資料は、発行形態により「図書」と「雑誌（新聞を含む）」に分けて管理しています。現在総合資料館で所蔵している京都関係の雑誌のタイトルは約3,800タイトルで、その大半は書庫資料となっています。今回はそのなかから最近収集したタイトルをご紹介します。

学友会誌、同窓会誌、校友会誌

「え、そんなものも集めているの?」とよく驚かれるのが、旧制中学校や高等女学校などの学友会誌や同窓会誌、校友会誌です。これらの会誌の主な構成は、その号に掲載の行事などの写真が巻頭を飾り、在校生や会員から寄稿された論説、和歌、俳句、学校行事やクラブ活動の報告が続き、会員消息、会の会計報告等々となっています。総合資料館では、学校の歴史や学校生活を知る資料として、これらの会誌を積極的に収集しています。

たとえば、京都府立第一高等女学校の同窓会

誌『鴨沂会雑誌』84号（昭和14年）によると、この年の修学旅行は、京都から福井、金沢、東京、日光、江ノ島、横須賀、鎌倉、箱根、三保の松原、名古屋を北陸周りと東海周りのA班B班に分かれ、7泊8日の日程で行われていたことがわかります。また、生徒の感想文も載っているのも、当時の生徒が修学旅行でどのようなことを感じて

いたかを知ることができます。それだけでなく、訪問先の町や駅の情景なども知ることができ、様々な面から興味深い資料と言えます。



▲左上：『学友会誌』（五中）、右上：『鴨沂会雑誌』（府一女）、左下：『学友会誌』（一中）、右下：『会報』（府二女）

京都府内旧制中学校・高等女学校の学友会・同窓会(校友会)雑誌所蔵リスト(平成28年5月時点)

学校名	種類	所蔵巻号	所蔵年 (開始年-最終年)	備考
京都府立第一中学校※	学友会誌	4-6,8,9,11,12,17-20,26-47,53,54,56	明30-昭15	
	同窓会誌	27-59	大7-昭18	27-47は学友会誌と合同で発行
京都府立第二中学校	学友会誌	1,2,7-13	明33-44	
京都府立第三中学校	学友会誌	15,27年,1,3号	大12-昭9	タイトルは『會誌』または『京三中』
	同窓会誌	11,21,24,31,[32],37,39-41,43,52	大10-昭18	タイトルは『京三中同窓會誌』
京都府立第四中学校	同窓会誌	1,2	明44-45	タイトルは『京都府立第四中学校同窓会會報』
京都府立第五中学校	学友会誌	1-4	明42-45	
京都府立第一高等女学校	同窓会誌	3,10,15-24,26-29,31,32,34-37,39,41,43,44,46,47,49,51-53,57-65,67-73,76-78,80-	明23-昭18	タイトルは『鴨沂会雑誌』
京都府立第二高等女学校	校友会誌	1-10, 36	明39-昭4	6-9,36は同窓会會報と合同で発行。タイトルは『校友會雜誌』
	同窓会誌	19,20,22-24,26-29,31-33,35,36,38,40,43,44,46,48-52,61,71,74	明43-昭17	タイトルは『會報』
京都市立第一高等女学校(堀川)	校友会誌	9,21,22 ; 7	大7-昭14	タイトルは『校友会雑誌』『堀川詞林』
	同窓会誌	20,25,28	昭9-17	
京都市立第二高等女学校(二條)	同窓会誌	14,17	昭11-14	タイトルは『會誌』
京都府立福知山高等女学校	校友会誌	14	昭3	タイトルは『さなへ』

※学校名変更: 京都中学→京都府第一中学校→京都府立第一中学校→京都府立京都第一中学校

これらの会誌は、会員以外には配布されなかったことから、収集は大変難しく、欠号が多いのが残念なところですが、もし、ご自宅に眠っている学友会誌などがありましたら、資料館にご寄贈いただくと大変ありがたいです。

ゴシップ誌か社会派か？ ～『太平洋』について～



▲『太平洋』1巻1号表紙

最近入手した雑誌に、昭和7年に発行された『太平洋』という雑誌があります。第1巻1号～4号までの4号分を所蔵しており、他に所蔵している図書館も

ないようなので、大変貴重な雑誌と言えます。『太平洋』はこの当時のゴシップ誌に相当する資料です。見出しの一部を紹介すると、「京都電燈買取問題と交友会」（1号）、「『京阪乗入』と『電燈統一』の二懸案」（2号）、「京都府立大学病院を解剖す」（2号）、「市役所の諸事業を請負制度に移せ」（3号）などとなり、社会問題について独自の視点で切り込んでいる一方、市バスの切符のことや車掌嬢についてあれこれ言ってみたり（4号）、建設中の西京極の運動場が大雨でプールのようになったのを「一夜のうちにプールが出来るとは、・・・夏向らしい猟奇的涼味百パーセントの話」と言ってみたり（1号）、小ネタも満載です。

この雑誌は、太平洋社という団体が発行しており、発刊の目的を、世の中の不合理を解決するために、まず議会政治を大掃除したい、そのために言論手段において議会政治を改造する、と謳っています。また、営利を目的とする雑誌ではないことを強調しており、表紙には「バットより安い5銭雑誌」と大きく書かれています。目的か

らすると社会派雑誌とも思えなくもないですが、果たしてどうでしょう？

地域の情報誌（ミニコミ誌）も集めています

最近、インターネットでの情報発信が盛んですが、資料館で働いていると、紙媒体での情報発信も増えてきているようにも感じます。特に、ミニコミ誌といわれる、地域に密着した情報を発信するタイプの雑誌が多く発行されています。

最近発刊されたものでは、「じかんシリーズ」というものがあります。このシリーズは、現在、京都府内で「右京じかん」「山科じかん」など8タイトルが発行されています。このようなミニコミ誌は配布地域に限られるため、なかなか出版情報が見つからないのが悩みの種です。そのため、資料館では、京都府内のNPOパートナーシップセンターと協力し、収集を進めています。それでもまだまだ未発掘のミニコミ誌がたくさんある、というのが実状です。お近くでミニコミ誌を見かけられた方は、資料館までご一報ください。



▲『じかんシリーズ』一部

おわりに

資料館の京都関係雑誌の大半は、京都府民の方々や団体からのご寄贈で成り立っており、府民の皆様の手によって支えられているといっても過言ではありません。これからも、京都府民の記録・記憶を後世へ引き継いでいくために、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(文献課 楠 久美)

佐藤辰三・佐藤旭撮影写真資料

はじめに

この度、写真家の佐藤旭氏から、旭氏の御尊父辰三氏と旭氏が組まれて、辰三氏の生前に撮影された写真資料3,687点を寄贈いただき、目録及び画像を公開いたしましたので、紹介します。

1 佐藤辰三・佐藤旭撮影写真資料の概要

撮影者の佐藤辰三氏は、京都の美術出版社である便利堂のカメラマンとして活躍され、昭和12年(1937)に亡き実兄の浜次郎氏と法隆寺金堂の壁画の原寸大写真の撮影に成功したほか、同様の手法を用いて、当麻寺の曼荼羅等を撮影されました。また、佐藤旭氏は佐藤辰三氏の長男で、辰三氏の助手として写真家のスタートを切った時期に当たっています。その後、太陽・自然・遺跡等をテーマに芸術写真をめざし、我が国を代表する写真家として活躍されています。

本資料は、佐藤辰三氏が便利堂を昭和30年(1955)に退職されてから、昭和43年(1968)に亡くなるまでの13年間に撮影されたものがほとんどで、いずれも美術出版物の元になった写真です。また、辰三氏と旭氏が組んだ時期でもあります。

2 原板の内訳

撮影の時期は、フィルム全盛時代になっていましたが、重要な対象物については、恒久的な素材からなるガラス乾板を使用して撮影されました。そのため、この写真資料群には600点を超えるガラス乾板が存在しています。しかし、大部分がモノクロの4×5のフィルムで、中にはキャビネ判のフィルムもあります。

原板の内訳は、以下のとおりです。

ガラス乾板キャビネ判 644点

モノクロフィルムキャビネ判	318点
モノクロネガフィルム4×5	2,316点
モノクロネガフィルム6×9	129点
モノクロネガフィルム6×6	127点
モノクロネガフィルム 35mm	70点
カラーネガフィルム4×5	56点
カラーポジフィルム4×5	9点
カラーネガフィルム6×6	9点
モノクロネガフィルム 4.5×6	9点

別に、上記原板の紙焼き写真を参考資料としていただいています。

3 資料の内容

撮影対象は多岐にわたっていますが、注目すべきものとしては、ガラス乾板やフィルムを問わずに、4カットをセットにして同じ角度で撮影されている写真があることです。これは赤・青・黄のフィルターを付けてモノクロ撮影されており、印刷物にするときに、それぞれの色のインクで刷れば、カラー写真として印刷出来る手法となっています。これは、辰三氏が法隆寺金堂の壁画をカラーフィルムの無い時代にカラー撮影された手法であり、その手法の一端をうかがわせる資料です。

写真の対象地域は、京都がほとんどで、一部に奈良の寺院が入っています。内容は、以下のとおりです。

- (1)寺院・神社・史跡名勝・民家等の建築（約1,300点）
- ・広隆寺・東福寺・金閣寺・銀閣寺、上賀茂神社・下鴨神社、二条城等の京都に関するもの
 - ・法隆寺・法起寺・法輪寺・室生寺、鶴林寺等の他県に関するもの

(2)陶磁器・絵画・書跡等（約900点）

・風神雷神図、和歌懐紙等

(3)仏像・仏画・仏具等（約1,000点）

・広隆寺弥勒菩薩像、平等院鳳凰堂阿弥陀如来像、東寺不動明王像等の京都の著名仏像

・法隆寺の釈迦三尊像等、夢違観音像、興福寺阿修羅像等の他県の著名仏像

(4)茶室・庭園等（約450点）

・表千家残月亭、妙喜庵茶室等の京都の茶室

・桂離宮・修学院離宮等の京都の庭園

上記のように、撮影対象とされたのは寺院・神社をはじめ、史跡名勝や茶室・庭園等の建物を中心とした文化財から、陶磁器や書画、仏像・仏画等の多方面に及んでいます。いずれも、書籍編纂のために撮影されたものが大部分であったことに起因しますが、当時のプロの写真家による撮影という意味でも、大変貴重な資料になっています。

なお、書籍に掲載された写真と言うことで、当該資料を御利用になる場合は、著作権などにご留意いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

(歴史資料課 土橋 誠)



清水寺
本堂



西本願寺
飛雲閣



法界寺
阿弥陀堂



東本願寺
枳殻邸

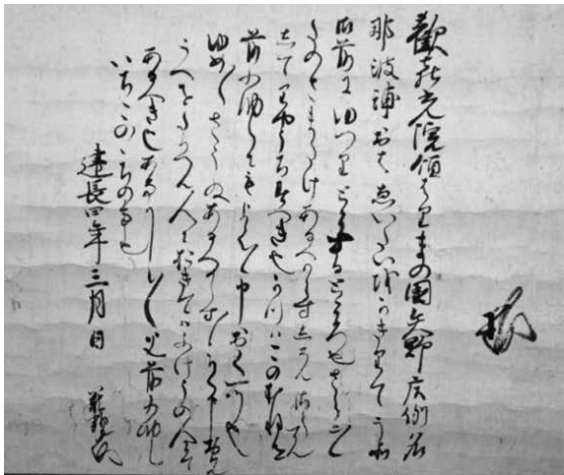


平等院
鳳凰堂



広隆寺
弥勒菩薩像

藤原範親置文（東寺百合文書 り函266号）



▲写真1 藤原範親置文

この度、京都府立総合資料館は「建長4（1252）年3月日 藤原範親置文」1点（写真1）を購入しました。この文書はもともと東寺百合文書「り函」に納められていましたが、京都府が昭和42（1967）年に東寺百合文書を一括して購入した際には含まれておらず、所在がわからなくなっていたものです。

この「藤原範親置文」には、播磨国矢野荘例名内の那波浦の譲与について書かれています。矢野荘は現在の兵庫県相生市にあった荘園です。荘園の範囲と市の範囲はほぼ一致します。那波は相生湾の沿岸部にあり、今でもその地名が残っています。

東寺にとって矢野荘は寺院経済を支える大事な荘園のひとつでした。正和2（1313）年に例名が、文保元（1317）年に例名内の重藤名と那波・佐方浦が、それぞれ後宇多法皇から東寺に寄進され、矢野荘は東寺領としての歩みを始めました。

東寺領になる以前は、歌人や画家として知られる藤原隆信の一族が矢野荘例名を支配していました。藤原範親は隆信の曾孫にあたります。この「藤原範親置文」をはじめ、東寺百合文書には隆信の子孫の文書がいくつか残っています。これらの文書のおかげで、東寺領になる以前の矢野荘例名の様子を知ることができるのです。

さて、この「藤原範親置文」によれば、範親は父・為綱の死後に妹・宇曾御前に那波浦を譲

ことにしました。文書の年月日の下に範親の名前と花押がありますが、右の余白には範親とは別の人物の花押が見えます。これは範親の祖父・隆範の花押です。2つの花押は、この譲与が隆範の意思によって行われ、範親はその意向を受け入れ、文書をしたためたということを表しています。

実は、すでにこの前年に、祖父・隆範は宇曾御前に那波浦を譲るつもりでいました（ホ函3号の1）。つまり、「藤原範親置文」は隆範から宇曾御前への那波浦の譲与を踏まえて書かれたものだったのです。

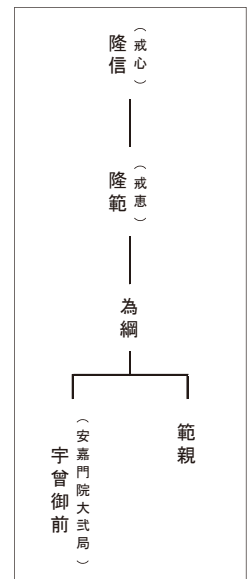
さらに、「藤原範親置文」が書かれた翌月に、父・為綱も自身の死後に宇曾御前に那波浦を譲ることを文書で誓いました（ホ函3号の2）。この文

書の右の余白にも祖父・隆範の花押があります。範親と同様、為綱も隆範の意向を受け入れ、文書をしたためたのでしょう。

こうして、隆範の意向と為綱・範親の合意のもとに、那波浦は為綱の死後に宇曾御前へ譲られることになりました。続いてその翌年に、隆範から為綱に矢野荘例名が譲られました（よ函10号の3）。これらのことがきっかけとなり、那波・佐方浦は矢野荘例名から独立し、分割相続されるようになったのです。

このように、「藤原範親置文」も合わせて読むことで、藤原隆信の子孫が残した文書をより深く理解できるようになりました。ほんの少しですが、中世の相続の実態に迫れたのではないのでしょうか。

（歴史資料課 鍛冶利雄）





最近の収集資料から（平成28年3月～5月）



◆図書資料

〈京都〉

音羽の山寺 牛尾観音法嚴寺史 鏡山次郎著
つむぎ出版 2015 597p 寄贈

長岡宮発掘60年のあゆみ 長岡宮発掘60周年記念誌
向日市埋蔵文化財センター編 向日市教育委員会 2015 131p 寄贈

右手をご覧くださいませ バスガイドとめぐる
京の旅 ヤサカ観光バス監修 淡交社 2015
263p 寄贈

川合小学校閉校記念誌 川合小学校統合準備委員会編集
福知山市教育委員会 2015 151p 寄贈

親と先生でつくる学校 京田辺シュタイナー
学校12年間の学び 京田辺シュタイナー学校
編著 せせらぎ出版 2015 212p 寄贈

祇園祭大船鉾復興の軌跡 四条町大船鉾保存会
編刊 2015 34p 寄贈

平安神宮記念大極殿及第四回内国博覧會之圖
文字富之助 1895 1枚

京に生きる琳派の美 琳派400年記念 現代作家
200人による日本画・工芸展 京都文化博物館
編刊 2015 247p

丹後・東海地方のことばと文化 兄弟のような
ことばを持つ両地方 平成26年度丹後・東海地方
の文化方言等調査事業報告書 京丹後市教育
委員会 2015 132p 寄贈

不松庵竹千代雅立机披露正風冠吟輯 聴松庵一
峰選 [同雨舎] [1936] 1冊 寄贈

きょうと女子シャインズ きょうと女性ロールモデル集
WORKS&LIFE 女子シャインcheers!
[編] 京都府 2015 35p

京都府建設交通部の概要 平成27年度 京都府
建設交通部編刊 2015 80p

**まさかを防いで、京都で学生生活を楽しむための
ハンドブック。** 京都市総合企画局総合政策
室 2015 46p

〈人文・官庁〉

**公立図書館における課題解決支援サービスに関する
実態調査報告書** 2014年度(平成26年度)
全国公共図書館協議会編刊 2015 91p

レファレンスブックス 選びかた・使いかた
新訂版 長澤雅男・石黒祐子共著 日本図書館協会
2015 10,242p

アーカイブ基礎資料集 小川千代子・菅真城編
著 大阪大学出版会 2015 10,166p 寄贈

書誌年鑑 2015 中西裕編 日外アソシエーツ
紀伊國屋書店(発売) 2015 7,522p

かるた 江橋崇著 法政大学出版局 2015
352,6p,図版[7]p (ものと人間の文化史 173)

高野山周辺地域民俗文化財調査報告書 和歌山
県教育委員会編刊 2015 463p,図版[8]p 寄贈

寺院法 黒田俊雄編 集英社 2015 46,1311p
(訳注日本史料)

中世アーカイブズ学序説 上島有著 思文閣出版
2015 5,405,12p 寄贈

継体大王とヤマト 平成27年度春季特別展
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館編刊
2015 87p (特別展図録 第83冊) 寄贈

日本近世都市の文書と記憶 渡辺浩一著 勉誠
出版 2014 374,22p

徳川綱吉 館林城主から将軍へ 館林市制施行
60周年記念・館林市立資料館特別展 館林市教
育委員会文化振興課[編]刊 2014 48p 寄贈

陸にあがった海軍 連合艦隊司令部日吉地下壕
からみた太平洋戦争 神奈川県立歴史博物館編
刊 2015 119p 寄贈

ダブル・インパクト 明治ニッポンの美 ポスト
ン美術館×東京藝術大学 東京藝術大学大学美
術館・名古屋ポストン美術館編 芸大美術館
ミュージアムショップ/六文舎 2015 200p 寄
贈

ナチス・ドイツと「帝国」日本美術 歴史から消
された展覧会 安松みゆき著 吉川弘文館
2016 6,254,2p,図版[4]p (シリーズ近代美術のゆ
くえ)

東京国立博物館図版目録 東洋彫刻篇1 東京
国立博物館編刊 2015 146p 寄贈

特集「近代の宗教美術」 三好企画(製作)
2015 145,8p (近代画説 明治美術学会誌
24)

三輪晁勢 色彩の歓喜 特別企画展 京都府立
堂本印象美術館編刊 2015 135p

年鑑・書道 2016 美術新聞社・編集部編 萱
原書房 2015 903p

朝日新聞報道写真集 2016 朝日新聞社編 朝
日新聞出版 2016 207p

乾山見参! 着想のマエストロ サントリー美術
館編刊 2015 238,11p 寄贈

法令全書総目録 平成27年 国立印刷局編刊
2016 475p

外資系企業の動向 第48回 経済産業省貿易経
済協力局編 経済産業統計協会刊 2016 226p

地方財政要覧 平成27年12月 地方財務協会編
刊 2016 511p

国民衛生の動向 2015/2016 厚生労働統計協
会編刊 2015 503p

内航船舶輸送統計年報 平成26年度 国土交通
省総合政策局情報政策本部情報政策課交通統計
室編刊 2015 65p 寄贈

◆文書資料(新しく公開する資料)

京都府国宝等修繕関係書類 国宝をはじめとす
る仏像・神像彫刻等の修理に関する書類。大正7年
(1918)。1点。資料1点ごとに現状・損傷状況・修理
方法・経費の積算がまとめられている。法界寺・
随心院・清涼寺・六波羅蜜寺・宝菩提院・大將軍
八神社等をはじめ、現在国宝もしくは重要文化財
である彫刻の大正期の修理の状況を伝える。

丹波国船井郡宍人村地改帳 丹波国船井郡宍人
村(現在の南丹市園部町宍人)の寛永18年(1641)
の土地改(検地帳)。1点。天保4年(1833)の写であ
るが、近世初期の宍人村の田畑屋敷の状況を伝
えるものである。

山城国八郡高附帳 近世後期の山城国全郡418カ
村について、各村ごとに領主別の石高をまとめた
高附帳。天保10年(1839)改。1点。

京都府立京都学・歴彩館にむけて

現資料館の南側に、新館が完成しました。平成19年以降、施設の老朽化、資料館の機能や取り巻く環境の変化を踏まえ、より一層府民の皆様のご期待に応えうる施設になるよう、新館整備を進めてきました。

そして、現資料館は完全閉館し、新たな建物へ引っ越します。50年以上の歴史があり、「学生のころから利用している」という方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。9月13日（火）までは通常開館していますので、ぜひ閉館までに足をお運びください。

新館では、現資料館の機能に加え、さらなる府民サービスの向上に努めてまいりますので、どうぞご期待ください！

なお、開館まで新館の中へ入っていただくことはできませんのでご注意ください。

閉館・開館について

表紙でもご案内しましたとおり、現資料館は9月14日（水）から閉館いたします。閉館中は新館オープンに向けた準備や移転に専念するため、原則利用者サービスは停止させていただきます。

また、新館オープンの詳細につきましては、ホームページ等で順次お知らせしますので、もうしばらくお待ちください。

利用者の皆様には、ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

総合資料館だよりの発行について

「総合資料館だより」は閉館中も発行予定ですが、いつものように館内配付をすることができません。ご存知の方も多いかと思いますが、当刊行物はホームページでご覧いただくことができます。また、府立図書館や府民総合案内・相談センター（京都府庁内）、府政情報センター（京都府庁内）においても配布を行っています。ホームページをご覧いただけない場合は、そちらでご確認ください。

「総合資料館だより」URL

<http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/dayori.html>

平成28年度の事業予定について

◇講座

・「寺子屋講座」

- ①「学ぼう！江戸の算術～算木（さんぎ）を使ってみよう～」8月4日（木）（10頁参照）
- ②「京都の歴史を歩こう！」9～10月（予定）

・「京都学講座」

- ①6月18日（土）（開催終了）
- ②9月3日（土）（10頁参照）

◇企画展

・「東寺百合文書展」

- 会期 平成29年3月1日（水）～4月23日（日）
会場 京都文化博物館

◇資料紹介コーナー

・「森の京都～豊かな自然の恵み～」

- 会期 平成28年6月9日（木）～9月13日（火）
場所 資料館3階閲覧室
展示資料 『北山杉の詩』、『亀岡の名木』、『京丹波 季節の彩り』ほか

◎これらの詳細については、決まり次第、ホームページやメールマガジン等でお知らせします。お楽しみにお待ちください。

日誌（平成28年3月～5月）

3. 1（火）～3. 11（金）

資料整理のため休館

2. 11（月）～5. 8（日）

ホテルビノ京都堀川の「広岡浅子女史展」にて、当館所蔵資料が展示されました。（4月6日（水）までの予定でしたが、会期が延長されました。）

5. 12（木）～6. 7（火）

資料紹介コーナー「絵本太閤記にみる真田幸村周辺の人々」

寺子屋講座

「学ぼう！江戸の算術 ～算木(さんぎ)を使ってみよう～」

江戸時代の数学、和算について親しんでみませんか。当館所蔵の和算書と共に、江戸時代の計算用具である算木（さんぎ）を使っての計算を体験していただきます。

○日時

平成28年8月4日（木）午前10時～12時

○場所 総合資料館 2階会議室

○対象者及び定員

小学校高学年以上（小学生は保護者同伴）
20名程度

○申し込み方法

参加者氏名（ふりがな）と学年、保護者氏名（ふりがな）、電話番号を明記し、はがき、FAX、Eメール（shiryokan-bunken@pref.kyoto.lg.jp）で総合資料館文献課までお申し込みください。受付開始は、7月15日（金）からです。

京都学講座第2回

「本草の来た道 —日本古代の医学・薬学—」

○日時 9月3日（土）13:30～15:10

○会場 京都府立大学 稲盛記念会館104講義室

○申込期間 7月1日（金）～8月19日（金）

*詳細は、京都府文化スポーツ部文化政策課へご連絡ください。（TEL 075-414-4225）

友の会事務局より

○平成28年度会員について

新館の開館準備のため、新規会員の募集は行いません。

なお、新館の整備に伴い、友の会についてもリニューアルを検討いたしております。詳細は決まり次第お知らせさせていただきますので、よろしくお願ひします。

問合せ先：友の会事務局（TEL 075-723-4831）

メールマガジンのご案内

資料館では隔週でメールマガジンを発行しています。資料館イベントの情報や、新着図書案内、資料館ならではの京都関係のコラムを発信しています。登録は下のURLから！
<http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/maga.html>

※「まぐまぐ」からのオフィシャルメールの解除は、登録後に送られてくる「メルマガ読者登録完了のお知らせ」から可能です。

古文書相談のご案内

○ 古文書の内容や解説についての相談を郵送にて受け付けております。

○ 地域に残る資料の解説・整理取り扱いなどに関するご要望があれば、職員が出張して行います。

いずれも詳細は、当館歴史資料課（TEL 075-723-4834）までお問い合わせください。

利用案内

休館日 祝日法に規定する休日、
毎月第2水曜日、資料整理期、
年末年始（12月28日～1月4日）

〔7月～の休館日〕

7月13日（水）、18日（月・祝）

8月10日（水）、11日（木・祝）

9月14日（水）以降移転作業に伴い閉館

開館時間 午前9時～午後4時30分

交通 京都市営地下鉄烏丸線・北山駅下車
市バス④、⑧・北山駅下車
京都バス④⑤、⑥・前萩町下車

ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/>

発行 京都府立総合資料館
京都府立総合資料館友の会

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4
TEL. 075-723-4831 FAX. 075-791-9466

○本誌に対するご意見・ご感想などを当館庶務課までお寄せください。

再生紙を使用しています。